

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 4 - 16

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		雄武町暴力追放運動推進協議会補助事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	渡邊孝司		氏名	石山英伸	
事業の概要	暴力団排除運動を推進している「雄武町暴力追放運動推進協議会」の運営に対する補助を実施している。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 225 千円 事業費計 225 千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 (運営費補助)			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~				
	基本施策	20	防犯・交通安全の推進				
	単位施策	1	防犯体制の強化				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	45 千円	45 千円	45 千円	45 千円	45 千円	
	合計	45 千円	45 千円	45 千円	45 千円	45 千円	

601

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	イベントにおける暴力団関係者の排除	暴力団が関係する事件の発生件数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内において暴力団が活動できない環境をつくる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		暴力団が関係する事件の発生件数	目標年度	平成21年度	
			目標値	0 件	
			実績値	0 件	
		達成度	#DIV/0! %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	暴力団が関与しない安心な町を実現する。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
運営費補助金の交付	安定した組織運営を支援するため、運営費補助を行った。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	暴力団が関与しない安心な町づくりを推進するうえで中心となる団体であることから、組織の安定運営のため必要な事業である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	町内イベントへの暴力団関係者の関与は無く、十分な効果を得られている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	イベント等への露店出店者から暴力団関係者を排除するのみならず、イベント主催者と露店出店者間の調整役(ゴミ処理等)として、目に見えない部分での貢献もある。また、会員から募った寄付金を活動資金の一部としていることから、事業費抑制の効果もある。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	町全体を対象とした暴力団排除運動を行っていることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
暴力団が関与しない安心な町づくりのため、今後も継続的な支援が必要である。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続 / 現状維持	継続 / 現状維持	
安心して暮らすことのできる町を実現するため、暴力団排除運動に対する支援は今後も必要である。	同左	

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--